



夏季には汽水域で1cm前後の稚魚～成魚までが見られる。北潟湖産 全長：約10cm

ニシン科 サツパ属

【全長】15cm

サツパ

学名：*Sardinella zunashi*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

主に沿岸部の浅い所～河口部の砂泥底を好む。



水槽内でも暴れて死ぬことが多い。

体色は金属光沢のある銀白色で背面側が緑色を帯びる。顎の左右には喉板と呼ばれる薄い膜があり、口を開くと現れる。体形はコノシロの若魚に似るが、鱗がやや大きく、鰓蓋後方の暗色斑紋が小さい。背鰭の軟条は伸長しない。沿岸部の砂底や砂泥底を好み生息する。食性は動物食性で底生動物などを食べる。産卵期は夏で内湾や汽水湖などで産卵する。瀬戸内地方では甘酢漬けで食される。本県でも夏期に河口付近で視られるが、あまり利用されない様である。

水槽での飼育は困難。大変に弱く、釣り上げると暴れ死ぬことが多い。鱗は擦れに弱く、触ると簡単に落ちる。性格は非常に憶病。

在来種

周縁魚

※ 汽水～海水で飼育出来るが、非常に憶病で水槽に移すと暴れ死んでしまう事が多い。鱗も取れやすく弱い。活魚の撮影に苦労した種です。